

平成 28 年度「夏の自然観察会」のようす

6月26日（日）、六戸町館野公園で自然観察会を開催し、17名の参加がありました。雨が心配されましたが強く降ることもなく、公園内の散策道を歩きながら、動植物や地質について観察しました。

以下に観察会のようすを紹介します。



午前 10 時 館野公園の駐車場で出発前の諸連絡



ブタナなどの芝生の植生について観察



コウヤワラビ



タチシオデ
(日本のアスパラガスとも)



ヒメシダ



ミズキやウワミズザクラなどの樹木も観察



十和田火山から噴出した軽石層について解説

地表面から下方に向かって順に、中湖カルデラから 6,100 年前に噴出した粒の細かい軽石（中掬軽石：ちゅうせりかるいし）と 9,200 年前に噴出した粒の大きな軽石（南部軽石）が観察できました。これは、十和田火山の噴火の規模によってこの地域にも火山灰や軽石が降ることを意味し、縄文時代の人々はこれに遭遇したことになります。



午後は神社境内の植物を観察しました